

【 デジタル教材「今治事典」の効果的な利活用 】

○ 空間を超えた学習成果の発表の場としてのツール

将来的に、児童生徒が学んだことをプレゼン等にまとめ、デジタル教材「今治事典」に掲載することにより、校区、校種を超えた市内小中学生の学習成果の発表の場としての役目を担う。

○ 時間と空間を超えた協働的な学びの実現のためのツール

蓄積された児童生徒による学習成果は、学習素材の一つとして活用され、ウェブ上で多様な他者の異なる考えが組み合わさることにより、よりよい学びを生み出す。

○ 児童生徒の創造的思考力を育むツール

協働的な学びの実現は、児童生徒の気付きや思考の連鎖を促し、独自性のある発想を引き出す。そして、児童生徒が自由な発想でプレゼン等にまとめる学習活動によって創造する楽しさを知ることができるとともに、自己表現や自己解決の力につながる。



【小学生用】



【中学生用】

デジタル教材「今治じてん」「Bari-pedia（今治事典）」（ウェブサイト）

URL : <https://imabari-school-furusato.jp/>